

1 2. 環境保全への取り組み

科学技術の進歩は、我々に多大な利便性をもたらした反面、地球環境破壊、資源・エネルギーの枯渇という深刻な負の遺産をもたらしつつある。環境に対する配慮を欠く効率の追求はもはや許されず、地球・資源・エネルギーが有限であることを認識し、これらを健全な形で将来の次世代に継承して持続性のある人間社会を構築するとともに、生態系を維持していくことが我々の責務である。人材の養成所としての大学に期待される部分は大きく、「環境・資源・エネルギー問題」という早急に取り組まねばならない課題に向けて、具体的な取り組みを考えていくことは避けて通れない。

環境に関する国際規格が、国際標準化機構（ISO：International Organization for Standardization）により制定されている。環境マネジメントに関する規格である ISO14001 については、日本でも多くの企業や事業所が認証を取得し、よく知られるところとなった。全国の国公立および私立の大学でもまた、環境憲章や環境方針を公表し、すでに数十校が ISO14001 認証を取得している。この環境マネジメントシステムは、PDCA スパイラル、すなわち、Plan—Do—Check—Action のサイクル構造となっている。その精神は、目標の設定（Plan）および実行（Do）だけではなく、その点検（Check）および見直し（Action）から新たな Plan をたて、継続的改善を図ることにある。組織としての ISO14001 認証取得には様々なハードルがあるが、この考え方は、研究室や個人レベルでも大いに参考にできるものである。

大学での「環境保全への取り組み」として、目の前にあるのは、極めて当たり前の内容である。例えば、

- 電気使用量の削減：電気をつけっぱなしにしない・夏季クーラー自粛の厳守
- 紙使用量の削減：再生紙の利用・不要紙の裏面使用・ペーパーレス化の推進
- ゴミ分別収集の徹底と再資源化の推進：吉田地区のゴミ分別方法に従い正しく処理（再資源可能な紙類、空き缶類、ガラスびん類、PET ボトルなど）・溶媒類の再使用
- 危険物や実験廃棄物の管理徹底

といった事項は、すでに積極的に推進している。これらを、部局・講座・個人等それぞれの立場で、Check および Action が可能な Plan を導くことが、これからの「環境保全への取り組み」を実のあるものにするであろう。

吉田地区のゴミ分別方法

可燃ゴミ	<p>●中央集積場の可燃物コンテナ車に入れてください。</p> <p>①可燃ゴミは紙、細かな木くず、草花、生ゴミ等です。</p> <p>②食品のトレイ、ラップ、弁当ガラ、カップ麺容器、ペットボトル等はいれなくてください。</p>
古紙 (新聞誌 段ボール その他)	<p>●①の古紙はそれぞれ紙ひもで十字に束ねてください。</p> <p>①中央集積場の山口市専用ストックハウスに入れてください。</p> <p>新聞紙 折り込み広告も一緒によい。束ねる厚みは30cm位とする。</p> <p>雑誌 製本されたものに限る。束ねる厚みは30cm位とする。</p> <p>段ボール 金具、カムテープ、ビニール等は取り除く</p> <p>その他 紙製容器包装類のもの(紙袋、包装紙、紙箱、7mmの貼ってある紙パック)</p> <p>②農学部附属農場へ運んでください。</p> <p>シュレッダーゴミ スパイラルカットのものをビニール袋に入れる。</p>
空き缶	<p>●食品のものに限ります。</p> <p>①中央集積場の缶・ビン・ペットボトル専用集積ハウスに出してください。</p> <p>②水洗いしアルミ缶とスチール缶を一緒に出してください。</p>
空きビン	<p>●食品のものに限ります。</p> <p>①中央集積場の缶・ビン・ペットボトル専用集積ハウスに出してください。</p> <p>②水洗いし、ビンの口金やふたは入れなくてください。</p>
ペットボトル	<p>●ペットボトルは清涼飲料、しょうゆ、酒類に限ります。</p> <p>①中央集積場の缶・ビン・ペットボトル専用集積ハウスに出してください。</p> <p>②水洗いし、キャップは入れなくてください。</p> <p>③ボトルはつぶしてください。</p>
発泡スチロール	<p>●中央集積場の発泡スチロール専用ストックハウスに入れてください。</p> <p>①梱包用緩衝剤、保冷箱を入れてください。</p>
その他 プラスチック類	<p>●透明のビニール袋に入れてください。</p> <p>①中央集積場の山口市専用ストックハウスに入れてください。</p> <p>②必ず中身がないようきれいに洗ってください。</p> <p>出せるもの</p> <p>ポリ袋・ラップ類……菓子・パンの袋、トレイのラップ、レジ袋など</p> <p>チューブ類……マヨネーズ、歯磨き、糊など</p> <p>ボトル類……洗剤、調味料、食用油、シャンプーなど</p> <p>トレイ・パック類……食品トレイ、卵パックなど</p> <p>カップ類……カップ麺、ゼリー、プリン、乳酸飲料容器など</p> <p>ふた類……ペットボトルのふた、マヨネーズのふたなど</p> <p>出せないもの</p> <p>容器包装でないもの……バケツ、洗面器、プランター、まな板、長靴 カセットテープ(ケース)、ビデオテープ(ケース)</p> <p>硬いプラスチックのもの……ビールのケースなど</p> <p>その他……発泡スチロール、ペットボトル</p>
不燃ゴミ	<p>●散乱しないよう中央集積場の不燃物置場に出してください。</p> <p>①上記以外は不燃物として出してください。</p> <p>②備品類、ガスボンベ、タイヤ、自転車、医療用廃棄物等は各部局で処分願います。</p>

(注) 詳細は山口市発行の「リサイクル ルールブック」を参考にしてください。

理学部での廃棄物の分別・処理方法

一般家庭廃棄物	可燃物	可燃ごみ 紙製品、布製品、木くず、生ゴミ等で可燃やせるごみとしているものに限ります。	個人情報等を含む書類は、必ずシュレッダーにかけるなどして廃出して下さい。 古紙と混同しないこと。生ゴミは、水をよく切って出して下さい。	(従前の指定場所) 各種、各層指定のごみ箱
	資源物	空カン、空ビン、ペットボトル	飲料用に限ります。	売店・自動販売機購入付けの回収ボックス
		古紙類 新聞、雑誌、段ボール等	種類毎に分別し、紙幅で30cm程度に束ねて出して下さい。 食具、ガムテープ等は取り除くこと。	理学部中棟1層 学部集積場 (3号館については、別途指定場所)
		プラスチック類 ポリ袋、食品容器(即席カップ・トレイなど)、洗剤容器等	中身が無いようきれいに洗い、乾かして出すこと。	(従前の指定場所) 各層指定のごみ箱
発泡スチロール	梱包材は、なるべく業者に引き取ってもらうこと。学内で出す時は、小さく砕き透明ビニール袋に入れて下さい。	購入業者による回収が不可能な場合に限り理学部中棟1層 学部集積場 (3号館については、別途指定場所)		
業み物	不燃物	ガラス・刃物・陶器類	よく梱包して、「危険」又は「ガラス」と表示して出して下さい。	理学部中棟1層 学部集積場 (3号館については、別途指定場所)
		スプレー缶・ガスカートリッジ缶	中身を完全に使い切り、穴をあけて出して下さい。	
		蛍光管	専用の収集ボックスに入れて下さい。	
その他廃棄物	家電4品目 エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機が対象となります。	事務部からの指示により廃出して下さい。 輸出に先だって商品シールを事務部に提出して下さい。	管理棟西側集積場 ※事務部の指定する日に提出して下さい	
	乾電池類	専用の収集ボックスに入れて下さい。	理学部中棟1層・3号館 学部集積場	
	その他廃棄備品 パソコン本体及びディスプレイは、PCリサイクル対象となります。	事務部からの指示により廃出して下さい。 輸出に先だって商品シールを事務部に提出して下さい。	管理棟西側集積場 ※事務部の指定する日に提出して下さい	
実験系廃棄物	ガラス製器具類 試験管、ビーカー、フラスコ、ガラス製バイアル瓶、アンプル管、スライドグラスなど破損の恐れのあるガラス製実験用品(破損品含む)	オートクレープ滅菌済あるいは洗浄処理の後、中身が見えるように透明のビニール袋に入れて廃出して下さい。 種類毎に袋に入れ、輸出元[研究室名あるいは氏名]・滅菌済処理について袋に記載して下さい。 記載のない物は引き取りません。	実験系廃棄物専用集積所 (管理棟実務プレハブ倉庫) ※事務部の指定する日に提出して下さい (回収時期：隔週を予定)	
	プラスチック類・ゴム類 ビペットチップ、注射筒(シリンジ)、スポイド、サンプル管、マイクロプレート、実験用手袋などの各種プラスチックまたはゴムのディスプレイブル実験用品	オートクレープ滅菌済あるいは洗浄処理の後、中身が見えるように透明のビニール袋に入れて廃出して下さい。 種類毎に袋に入れ、輸出元[研究室名あるいは氏名]・滅菌済処理について袋に記載して下さい。 記載のない物は引き取りません。	実験系廃棄物専用集積所 (管理棟実務プレハブ倉庫) ※事務部の指定する日に提出して下さい (回収時期：隔週を予定)	
	可燃物 紙製品、布製品、アルミホイルなどの可燃性の実験用品	オートクレープ滅菌済あるいは洗浄処理の後、中身が見えるように透明のビニール袋に入れて廃出して下さい。 種類毎に袋に入れ、輸出元[研究室名あるいは氏名]・滅菌済処理について袋に記載して下さい。 記載のない物は引き取りません。	実験系廃棄物専用集積所 (管理棟実務プレハブ倉庫) ※事務部の指定する日に提出して下さい (回収時期：隔週を予定)	
	実験用試薬等の空瓶 薬品等の入っていた空容器(ガラス製とプラスチック製に分別して下さい。)	空容器は、試薬が付着していない状態にして下さい。中身が確認できるよう、透明ビニール袋に入れて下さい。ガラス製とポリ製に分別して下さい。ラベルは、添付されたままで構いません。	実験系廃棄物専用集積所 (管理棟実務プレハブ倉庫) ※事務部の指定する日に提出して下さい	
	実験系特別管理廃棄物 血液の付着した感染性廃棄物、実験動物の死体、試薬等が付着又は入ったもの(プラスチック製含む)。また、注射針・カミソリなどの医療廃棄物及びそれに準ずる物	これらは、一般廃棄物としても実験系廃棄物としても捨てることはできません。処理業者に処分を依頼します(有料)。詳細は、人文・理学部事務部予算管理係にご相談ください。		